学校番号	T1206

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	基礎英語上級	2	3	COMET English Communication　I

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・基礎英語(上級)の授業は、実用英語技能検定 準２級程度の力が身につくことを目標としています。
・１・２年で使用した教科書や新聞掲載の英語学習記事を活用して、「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」といった、４技能５領域の力をつける授業です。
・やや難しい英語を理解することができ、またそれを使って表現することができるように学習しましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・やや難しい内容を理解することができる。 ・少しゆっくりと平易な表現で話されれば、会話の内容を理解することができる。	・やや難しい文章を理解することができる。 ・E メールを理解することできる。 ・公共施設などの表示・掲示を理解することができる。 ・メニューを理解することができる。	・やや難しい語句や表現を使って、尋ねたり、返答することができる。	・やや難しい語句や表現を使って、身近な出来事について話すことができる。	・やや難しい文章を書くことができる。 ・短い文章をまとまりよく書くことができる。 ・メモを書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣	・外国語の音声に慣れ、聞き取ることができる。 ・語彙・表現・文法を理解することができる。 ・外国語の知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことにおいて、目的や場所、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	・日常の話題や身近なトピックについて、外国語で情報を得たり、その内容を発信することができる。 ・話してや書きての意図を理解し、活用して表現に生かすことができる。 ・やや難しい話題も理解することができる。	・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ・課題を提出し、熱心に学習に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
前期	現在分詞 過去分詞	聞くこと	a: 音声教材の内容を聞き、単語やフレーズを聞き取ることができる。 b: 画像等の視覚的情報があれば、内容を理解することができる。 c: 必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業中 （リスニング）
		読むこと	a: 現在分詞と過去分詞に気をつけて内容を理解することができる。 b: 文章を読み、概要をとらえることができる。 c: 文章を読み、概要をとらえようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 現在分詞と過去分詞を適切に使い分けて話すことができる。 b: 例文を活用し、発話ができる。 c: 文法を理解し、発話しようとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: 現在分詞と過去分詞を適切に使い分けて英文を書くことができる。 b: 例文を活用し、英文を書くことができる。 c: 文法を理解し、英文を書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
	第１回考査			
	付加疑問文	聞くこと	a: 音声教材の内容を聞き、単語やフレーズを聞き取ることができる。 b: 画像等の視覚的情報があれば、内容を理解することができる。 c: 必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業中 （リスニング）
		読むこと	a: 付加疑問文に気をつけて内容を理解することができる。 b: 文章を読み、概要をとらえることができる。 c: 文章を読み、概要をとらえようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 付加疑問文を適切に使い話すことができる。 b: 例文を活用し、発話ができる。 c: 文法を理解し、発話しようとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: 付加疑問文を適切に使い英文を書くことができる。 b: 例文を活用し、英文を書くことができる。 c: 文法を理解し、英文を書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
	第２回考査			
後期	間接疑問文	聞くこと	a: 音声教材の内容を聞き、単語やフレーズを聞き取ることができる。 b: 画像等の視覚的情報があれば、内容を理解することができる。 c: 必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業中 （リスニング）
		読むこと	a: 間接疑問文に気をつけて内容を理解することができる。 b: 文章を読み、概要をとらえることができる。 c: 文章を読み、概要をとらえようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 間接疑問文を適切に使い話すことができる。 b: 例文を活用し、発話ができる。 c: 文法を理解し、発話しようとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: 間接疑問文を適切に使い英文を書くことができる。 b: 例文を活用し、英文を書くことができる。 c: 文法を理解し、英文を書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
	第３回考査			
	関係代名詞	聞くこと	a: 音声教材の内容を聞き、単語やフレーズを聞き取ることができる。 b: 画像等の視覚的情報があれば、内容を理解することができる。 c: 必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業中 （リスニング）
		読むこと	a: 関係代名詞に気をつけて内容を理解することができる。 b: 文章を読み、概要をとらえることができる。 c: 文章を読み、概要をとらえようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 関係代名詞を適切に使い話すことができる。 b: 例文を活用し、発話ができる。 c: 文法を理解し、発話しようとしている。	スピーキング テスト

		書くこと	a: 関係代名詞を適切に使い英文を書くことができる。 b: 例文を活用し、英文を書くことができる。 c: 文法を理解し、英文を書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
	第 4 回考査			
	会話文	聞くこと	a: 音声教材の内容を聞き、単語やフレーズを聞き取ることができる。 b: 画像等の視覚的情報があれば、内容を理解することができる。 c: 必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業中 （リスニング）
		読むこと	a: 会話文の特徴に気をつけて内容を理解することができる。 b: 文章を読み、概要をとらえることができる。 c: 文章を読み、概要をとらえようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 会話表現を適切に使い話すことができる。 b: 例文を活用し、発話ができる。 c: 文法を理解し、発話しようとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: 会話表現と文語表現を適切に使い英文を書くことができる。 b: 例文を活用し、英文を書くことができる。 c: 文法を理解し、英文を書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
	第 5 回考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度